

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館中央交通安全協会補助金	開始 年 度	昭和32年度
団 体 名	函館中央交通安全協会	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	交通安全協会補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当協会は、所轄の警察署の単位に各自治体に設置されている、各種の交通関連業者や個人会員で構成された組織であり、交通事故防止の徹底を図るためのSS運動やチャイルドシート装着の徹底等の各種運動を推進しているほか、優良運転者、優良会員等の表彰を行っており、これらの事業に要する経費の一部について補助金を支出している。
目 的	(目 的) 函館中央警察署の市内内地域を対象として、地域住民の交通安全意識の高揚を図るための各種運動を積極的に推進するため。
・ 効果	(効 果) 当協会をはじめ関係機関・団体が取り組む、交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的实施による、本市における交通事故発生件数等が減少している。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	R4 (決算)	1,440 [1,440]		50 [50]	1,948 [1,926]			3,438 [3,416]
	R5 (決算)	1,440 [1,440]		50 [50]	1,964 [1,928]		1 [1]	3,455 [3,419]
	R6 (決算)	1,440 [1,440]	10 [10]	50 [50]	1,918 [1,872]		270 [270]	3,688 [3,642]
	R7 (決算)	1,440 [1,440]		50 [50]	1,923 [1,849]		3 [3]	3,416 [3,342]
	R8 (予算)	1,440 [1,440]		50 [50]	1,860 [1,826]		2 [2]	3,352 [3,318]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	R4 (決算)	2,216 [2,216]	247 [247]	889 [883]	5	81 [70]		3,438 [3,416]
	R5 (決算)	2,216 [2,216]	340 [340]	815 [796]	5	79 [67]		3,455 [3,419]
	R6 (決算)	2,216 [2,216]	338 [338]	1,044 [1,014]	5	85 [74]		3,688 [3,642]
	R7 (決算)	2,216 [2,216]	196 [196]	916 [861]	5	83 [69]		3,416 [3,342]
	R8 (予算)	2,216 [2,216]	178 [178]	878 [862]	5	75 [62]		3,352 [3,318]

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館中央交通安全協会補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	所轄の警察署（函館中央警察署）の指導により設置されている組織であり、地域住民の交通安全意識の高揚を図るための各種運動を積極的に推進しており、公益性は極めて高い。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	交通安全思想の普及徹底を図り、地域住民を交通事故から守るうえで効果がある。また、各種交通安全啓発活動等、市が対応しきれない部分をカバーする必要がある、近年の交通事情においてその役割は重要である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	個人会費、団体からの特別会費を徴収し運営費に充てている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	市民の交通安全意識の高揚を図るため、交通事故防止に係る各種活動を積極的に行い、交通安全思想の普及徹底に努めるなど地域住民を交通事故から守るうえで効果があり、活動のための補助金が最適である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	毎年度、定期的な事業も多いが、交通事故の実態等を踏まえた事業を行うために必要な経費を積算している。
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	運営費補助であり、協会から提出される収支予算書等における積算内訳を精査のうえ、補助金額を決定している。
4	補助割合は、補助対象経費の1／2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	函館中央交通安全協会補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)
函館中央交通安全協会をはじめ関係機関・団体が取り組む、交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的实施。
(達成状況)
地域住民の交通安全意識高揚のため、函館中央警察署管内で警察・市などの関係機関・団体と連携して各種運動を積極的に展開し、交通安全思想の普及徹底を図り、10年前に比べ交通事故による死者数を除き、発生件数、傷者数は大幅に減少している。
■市等と共催で行った主な活動
○春夏秋冬各期における街頭啓発、赤灯車両駐留啓発、交通安全旗の掲出
○自転車利用者への街頭啓発、高齢者夜光反射材啓発ほか
・函館市交通事故発生件数 平成27年 724件 → 令和元年 500件 → 令和7年 472件
・函館市交通事故傷者数 平成27年 842人 → 令和元年 592人 → 令和7年 562人
・函館市交通事故死者数 平成27年 5人 → 令和元年 5人 → 令和7年 5人
■協会独自の主な活動
○交通安全旗の作成、配布 ○チャイルドシート、ベビーシートの貸し出し
○優良会員、優良運転者の表彰 ○バトカーバスによる広報活動ほか



(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐	事業効果を数値で測ることは困難であるが、交通安全に関する広報・啓発等について有意義な活動を展開している。
一定の効果をあげている ☒	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続	 (見直しの内容) 警察・市などの関係機関・団体と連携した各種交通安全活動を積極的に展開し、交通安全思想の普及徹底に努めており、市内における交通事故発生件数は大幅に減少しているが、高齢者が犠牲となる事故の割合は高くなっていることから、今後も、交通事故防止に向け、さらなる活動が必要である。一方、活動に使用する啓発資材等の価格の高騰などにより、団体の事業運営が影響を受けており、財源の確保や運営経費の見直しに取り組んでいるものの、厳しい状況にあることから、現行どおり補助を継続する。
☐ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(見直しの時期)	
(廃止の理由)	
(廃止の時期)	
(その他の内容)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和10年度	☒ 終期到来時に再検討	令和10年度